

「非核平和のまち宣言」について思うこと

喜多方市立会北中学校 三年 三浦 永愛

突然ですが、皆さんはNHKの朝ドラ「あんぱん」をご覧になったことがありますか。

朝ドラ「あんぱん」は「アンパンマン」の生みの親「やなせたかし」と「小松暢」さんの夫婦をモデルにしたドラマです。昭和の激動の時代を生きた二人が、さまざまな苦難を乗り越え、世界中の子ども達が大好きな漫画「アンパンマン」にたどり着くまでを描いた物語です。平日の朝、七時三十分からの番組なので、毎朝、朝ご飯を食べながら、家族と見ています。

先日、いつものように朝食を食べながら祖父母と「あんぱん」を見ていたら、主人公の家族が空襲から逃げるシーンがありました。必死に逃げている人や泣いている子ども、逃げることも生きること拒んでいる子ども、変わり果てた自分の町を見て放心状態になっている人、戦争によって亡くなった家族を思い出す人、そんな悲しい思いをしながらも、必死に生きようとしている人の姿を見て、とても切なく、胸が痛み、涙が出そうになりました。改めて、戦争がもたらす悲惨な状況と現代の平和の尊さを感じずにはいられませんでした。

一方、今年には戦後八十年の節目の年。実際の戦争を知っている人も少なくなり、私の家族にも戦争を体験した人はいないので、直接戦争について話を聞くことはできません。社会科の歴史の授業で戦争の原因となる「領土問題」「政治的対立」「民族・宗教的対立」「ナシヨナリズム」など、言葉として学習はしましたが、実際に経験していない以上、理解には限界があります。また、テレビでは、今、世界で起こっている戦争のニュースが連日報道されますが、それも遠い国の出来事で、どこか人ごとのように感じてしまいます。

でも果たしてそれでいいのでしょうか。

三年前に始まったロシアとウクライナの領土をめぐる戦争では、数十万人の人が命を落としていると予測されているそうです。イスラエルのパレスチナ問題によるガザ地区への攻撃では、壊滅状態の町を離れ、飢えに苦しむ人々や子ども達の姿が映し出されます。さらに、ここに来てイスラエルとイランが核開発を巡り、アメリカを巻き込んだのあわや戦争という所まで来ていると言われています。

にもかかわらず、私たちにとっては差し迫った問題ではなく、むしろ、緩やかに流れていく平和な時間の中で、戦争体験の記憶や危機意識が薄れていっているのではないのでしょうか。そして、これらは、仕方のないことなのでしょうか。

そんな疑問を、国語の授業で意見文を書く機会に少し書いてみたところ、担当の先生から喜多方市が公示している「非核平和のまち宣言」の全文をプリントアウトして見せてくださいました。宣言を発していることを知ってはいましたが、それを手にして読むのは初めてでした。インターネットで調べてみると平成十九年に組織された喜

多方市非核平和都市宣言市民検討会の検討を経て、同じ年の十二月の議会に提案され可決されたものだそうです。宣言されてから十八年が経ちます。

「非核平和のまち宣言」は、五連構成の短い詩のような文章になっています。

一連目は「青い空 飯豊の山々は 緑に映えて」と始まり、「我が町喜多方」の豊かで雄大な自然の中で、すべての人々が平和に生きる姿が描かれています。私は最初の三行がとても好きです。喜多方市に生まれたことを誇りに思えるからです。

二連目は一転して「世界各地には戦争が絶えず、悲しみや憎しみが残っている」と悲しい現実が描かれます。それはあたかも、今現在の世界情勢を予言していたかのような内容で、「核兵器」が「人々の平和としあわせと命の営みを一瞬に奪い取ろうとする」と警告します。私は、その様子を想像するだけでも怖くなります。

三連目には平和と自由な世界を願い、戦争と核兵器の恐ろしさを語り継いでいく決意が述べられます。後世に語り次いでいくのはとても大切なことだと思います。そして、その役目を背負うのは、私たち若い世代の者達だと思います。

そして四連目。この宣言の中核となる「憲法の平和精神」と「作らない、持たない、持ち込ませない」の「三つの約束」を守り、「あらゆる戦争」と「核兵器をなくす」よう「全世界に呼びかける」ことを強く宣言しています。「非核三原則」については社会科の授業で習いました。唯一の被爆国として、しっかりと果たしていかなければならない約束だと思います。

最後の五連目は「喜多方市民として」の思いを込めて改めて強く宣言し、これを締めくくっています。

この宣言を改めてじっくり読んで、とても素晴らしい宣言だなと思いました。一編の詩のように、短く、分かりやすい言葉でとても親しみやすいものになっているからです。そして、その一つ一つの言葉には、核を持たず豊かな自然と私たちの豊かな暮らしを守り抜き、世界の平和を実現していこうとする強い思いが込められていると感じます。私は、この宣言を一人でも多くの人に広げていきたいと思いました。

これから夏になると八十年前の戦争や原爆を扱った、戦争に関するニュースや記事が多くなると思います。過去の出来事を振り返るだけでなく、今現在戦争が起こってしまっている国があること、戦争は遠い昔の出来事ではないということを忘れ手はないと思います。そして、戦争によって命を落とす人、苦しむ人、悲しむ人が一人もいなくなるように、平和への祈りを新たにし、この「非核平和のまち喜多方」を心に刻んで生きていきたいと思っています。

朝ドラ「あんぱん」のモデルであるやなせたかしさんは、「アンパンマン」と「バイキンマン」の戦いを通して、核のない、平和な世界の実現を果たそうとしたのではないのでしょうか。